

文章 2

40年ほど前の図鑑によると、恐竜はゴジラのように尻尾を引きずって立ち、体は灰色か茶色か緑色で、腰のあたりにある神経節に助けられて巨大すぎる体をなんとか動かす、ドンくさい生き物であった。

それから20年ほどすると、恐竜に関する常識は一変した。まず、恐竜は尻尾を引きずらなくなった。体を水平に保ち、尻尾をピンと伸ばしてバランスを取り、足早に闊歩する活発な動物で、時に集団で狩りをし、自分より大きな恐竜に飛びかかって切り裂き、巢にしゃがみこんで卵を守る、そんな生き物だと認識されるようになっていた。

そして現在、恐竜は絶滅してなんかない、という認識になっている。いわゆる「恐竜」は、学術の場では Non-avian dinosaur つまり「非鳥類型恐竜」と呼ばれることが多くなっている。では非鳥類型恐竜ではない恐竜、いわば「鳥類型」恐竜とは？そう、鳥そのものだ。現在、化石や分子生物学の研究が進んだ結果、鳥は恐竜から直接進化した動物だと認識されている。だから、恐竜の一部は鳥と呼ばれて生き残っている、と言っても、間違いではない。現在、我々は鳥しか知らないから、「鳥」を独立した一つのグループとして慣例的に扱っているにすぎない。

ということで、今朝、出勤途中に見た、電線に止まって「カア」と鳴いていた生物は恐竜である。道路ぎわの草の種をつついて茶色いのも、水面に浮かんでいた連中も、恐竜である。公園でベンチに座っていると「クルッカー」と鳴きながら寄ってくるのも、恐竜である。

問題 2 次の文章の () に適切な言葉を入れなさい。(2点×15=30点)

内閣府発表の『2017年版子供・若者白書』に(1)、20~34歳のニートは48万人いる。この統計(2)含まれない35歳以上の高齢ニートは123万人(※総務省『2016年労働力調査』より)と合計171万人にもなるが、「彼らをカモ(3)する悪徳ビジネス(4)横行している」と明かすのは、ニート支援NPOのスタッフである。

「最近各地(5)引きこもりやニートの社会復帰を目的(6)自立支援寮がありますが、金儲け目的で運営する施設も一部存在します」

例えば、入寮費の相場は10万~20万円程度。(7)、悪徳施設のなかには100万円以上を支払わせるところもある。さまざまな名目でお金を支払わせる事案も発生しているという。「施設の職員が、引きこもりを部屋から強引に連れ出すドキュメンタリー番組がテレビで放映(8)ていますが、あれを真似する施設も多い。しかも、寮に連れていっただけで300万円請求するところも。こうした施設の情報は一般にあまり知(9)おらず、ネットで調べても実態を(10)にくい。そのため、情報弱者のニートを抱える親たちは、言われるが(11)お金を払っているのが現状なんです」

※ 注意： 1. 考生須在「彌封答案卷」上作答。

2. 本試題紙空白部份可當稿紙使用。

3. 考生於作答時可否使用計算機、法典、字典或其他資料或工具，以簡章之規定為準。

さらに悪徳自立支援寮では労働研修という名で働(12)、賃金をネコババしているケースまである。こうした悪徳施設では社会復帰支援を謳いつつも、早期退所はさせない。

「毎月の寮費として1人15万円を徴収しており、郊外の戸建てに押し込み、前述した労働研修の報酬ネコババを加えると10~20人規模の施設でも月100万円の利益は堅い。組織もあえてNPOにしないなど、規制の目を(13)る方法も編み出されています」

弱者(14)食いもの(15)するビジネス、ここに極まれり、だ。

問題3 次の文章を読み、文章の結論の部分を150~200字程度で書いてください。文章は『シミルボン』の記事「通訳者・翻訳者は『オールラウンドプレイヤー』ではない」からの抜粋です。(20点×1=20点)

2016年7月21日、東京新聞にある記事が掲載されていました。見出しは、「五輪通訳ボランティア？」

東京五輪・パラリンピック組織委員会が発表した東京オリンピック・ボランティア参加要件案を受けて、京都大学の西山教行教授がお書きになった記事です。要件案には、「一日8時間、10日間以上勤務できること、採用面接や研修を受けることができること、競技の知識や観戦経験があること」等が盛り込まれているようです。

数年前、英語圏以外の国を仕事で訪問し、現地の学生ボランティア通訳の方に大変にお世話になりました。ボランティアの方は、一生懸命頑張ってください、ありがたいなと思う反面、正直なところ、意思の疎通がうまくいかず仕事の目的を達成することができないという状況が多々あり、大変に残念な思いをしました。

大会の準備期間から大会が無事に終了するまで選手たちをバックアップするのが開催国の務めです。意思の疎通がうまくいかないことを理由に何らかの不手際があり、目指していた競技にでられなかったら？滞在中に日本という外国の地で病気になったら？怪我をしてしまったら？その他何か緊急事態がおこったら？リオデジャネイロ五輪のケースのように、事件に巻き込まれてしまったら？いったい、どうするのでしょうか？誰が責任をとるのですか？

- ※ 注意： 1. 考生須在「彌封答案卷」上作答。
2. 本試題紙空白部份可當稿紙使用。
3. 考生於作答時可否使用計算機、法典、字典或其他資料或工具，以簡章之規定為準。